

# KOLA

第 岸和田OL協会・編集局  
 五 岸和田市西之内町508  
 九 寺田 保  
 号 発行 1988(S63).2.16

ROMANTIC CITY KISHIWADA

ロマンシティー

PART 1

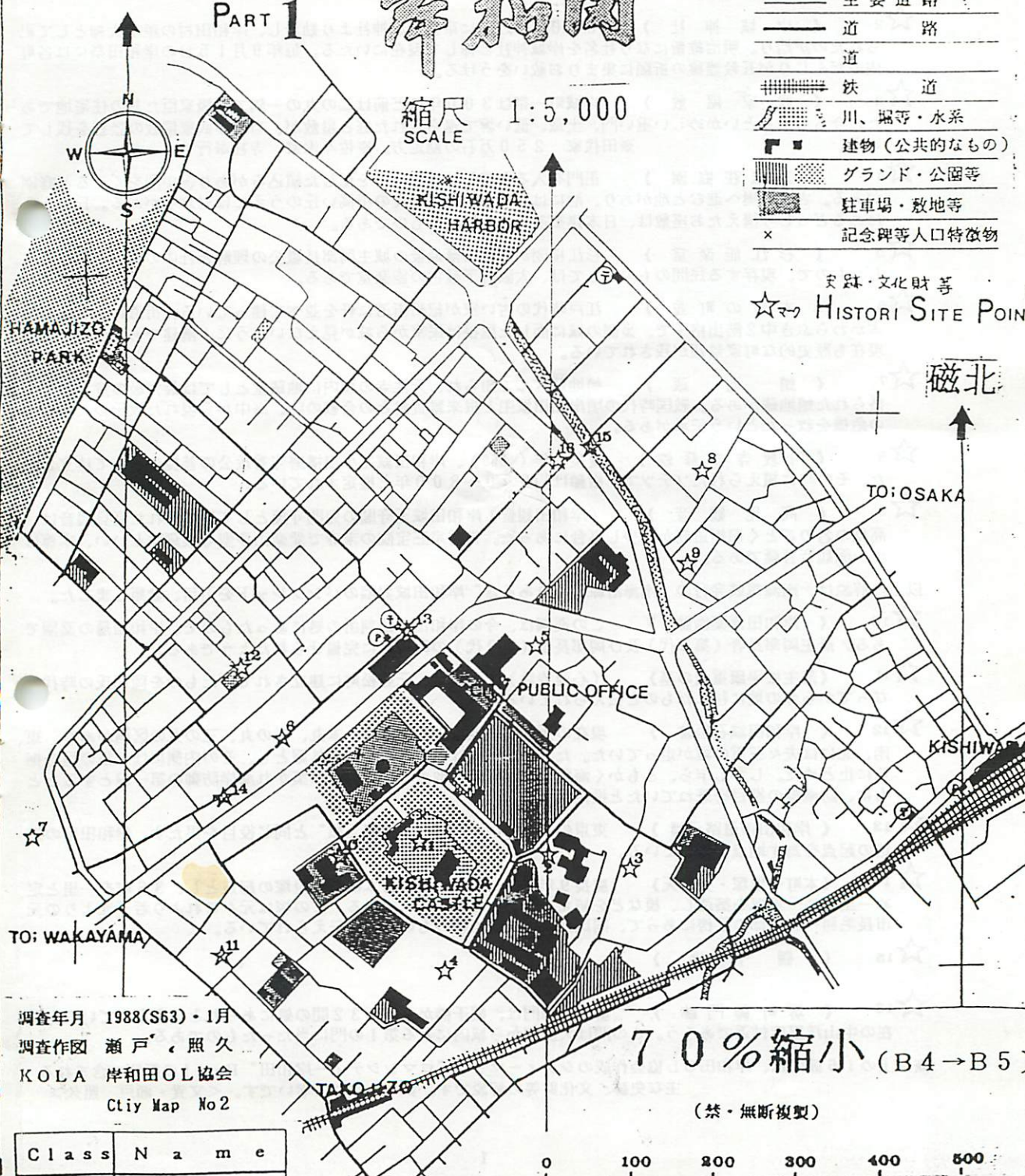
## 岸和田

縮尺 1:5,000  
 SCALE

地 図 記 号

- ==== 主要道路
- 道 路
- 道
- ||||| 鉄 道
- ~~~~~ 川、堀等・水系
- 建物（公共的なもの）
- ▨ グランド・公園等
- 駐車場・敷地等
- × 記念碑等人口特徴物

★ HISTORI SITE POINT



調査年月 1988(S63)・1月  
 調査作図 瀬戸、照久  
 KOLA 岸和田OL協会  
 City Map No2

70%縮小 (B4→B5)

(禁・無断複製)

Class	Name
-------	------

0 100 200 300 400 500



### 史跡ポイント 16

### 《Historic Site Point 16》

- ☆1 (岸和田城) 慶長2年小出播磨守秀政によって築かれ、のち松平康重を経て寛永17年岡部美濃守宣勝を藩主として明治維新まで続いた。文政10年(1829)に雷火で天守閣が焼失している。戦後昭和29年天守閣が復元された。夜空に照明で彩られその姿は実に美しい。城内には八陣の石庭、岸和田市立郷土資料館などがある。
- ☆2 (岸城神社) 620年ほど前に京都八坂神社より勧請し、岸和田村の産土大神として祀られたのが始り。明治維新になり社名を岸城神社と称して現在にいたる。毎年9月15日の岸和田祭には各町内のだんじりが五穀豊穡の祈願に集まりお祓いをうける。
- ☆3 (武家屋敷) 岸城町一帯は300年ほど前は二の丸の一隅で上級家臣たちの住宅地であった。今もちょっといかめしい重い門、土蔵、低い塀で巡らされた庭と屋敷が、当時の武家屋敷の景観を残している。  
※田代家 250万石の勘定方。※佐々木家 寺社奉行であった。
- ☆4 (五風荘庭園) 正門を入ると美しい数本の松を配した植込みがあり、中門をくぐると庭園がある。さらに奥へ進むと池があり、池には石橋が架かり背後の小高い丘のうえには対水亭がある。丘の上にあるどっしり構えたお座敷は、日本建築美の粋を尽したものである。
- ☆5 (杉江能楽堂) 杉江校図が岸和田藩最後の城主岡部長職公の理解と社中の協力を得て設立したもので、現存する民間のものとしては、大阪府下最古の能楽堂である。
- ☆6 (本町の町並) 江戸時代の古い家が紀州街道に軒を並べて建っている。街道に面した家は本かわらぶき中2階出格子で、裏側の城に面した屋根は民家から城が見えないように1階建てであるのが特徴。現在も歴史的な町家景観が残されている。
- ☆7 (蛸地蔵) 蛸地蔵さんで知られ、天性寺の境内に地藏堂としては最大級の堂宇の中に祭られた蛸地蔵がある。戦国時代の頃岸和田城主と根来雑賀衆との合戦の時、海中から現れた数千のたこが城の危機を救ったという伝承がある。
- ☆8 (円教寺の蘇鉄) 慶長5年(1600)、岸和田城主小出播磨守秀政公の菩提寺として建立された。その時に植えられたソテツで、樹齢は約500~800年と推定されている。
- ☆9 (高見観音) (岸和田観音) 岸和田城天守閣の鬼門守護として建てられた高見観音は、高見の名のごとく旧街道筋から少し高台にあった。真言宗三寶院の末寺で愛染山浄聖寺観音院といい、本尊は十一面観音菩薩である。

以上の解説は、南海電鉄発行の『南海沿線ぶらりあるき』岸和田城界隈のパンフレットを引用・参照しました。

- ☆10 (岸和田藩薬園跡) この薬園は、今の岸和田の裁判所の処にあったもので、岸和田藩の薬園である。藩主岡部長春(第5代)及び岡部長慎(第9代)の両時代に完備せられたようである。
- ☆11 (藩主松平康重公の墓) (心連寺跡) この墓は、元並松町に建立されていたものを岡部氏の時代になってから今の地に移したものと伝えられている。
- ☆12 (岸和田城石垣跡) 現在の天守閣の地を中心として、本丸、二の丸、三の丸の区画があり、東、南、北には夫々三重の堀が走っていた。ただ西側だけは和泉洋を自然の外堀とし、その内側には二重の堀を掘るに止どめた。しかし乍ら、ともかく海際から一町位の地点に長い石垣が築かれ海岸防御の第一線とするとともに、防潮堤の役目を兼ねていたと推定される。
- ☆13 (岸和田市道路元標) 東京の日本橋にある『日本道路元標』と同じ役目を果たす、岸和田市の道路の起点を為す地点を現している。
- ☆14 (本町一里塚・弁財天) 慶長9年(1604)お江戸の日本橋を一里塚の起点とし、36町を一里と定め一里毎に一里塚を築造し、榎などを植えさせた、と伝えられている。この塚は元々これより若干北よりの元市長毛利一郎氏邸の近傍にあって、同氏邸の老松は当時のものなりと伝えられている。
- ☆15 (欄干橋)
- ☆16 (堺町御門跡) 堺町口御門は、欄干橋から南へ32間の処にあったと伝えられている。現在の中山洋服店付近であろう。この門は大阪側から城内に入る第1の門に当たったものである。

※以上の16箇所は、岸和田OL協会の作成のシティーマップ『ロマンシティー岸和田』Part1の範囲に含まれる主な史跡、文化財等の解説です。参考になれば幸いです。<文責・瀬戸 照久>

## 第5回 ウェスタンカップリレー大会の引受について

先月第58号の速報でお知らせしましたように、去る1月15日の近畿OLC連絡会に於いて、正式に表記の大会開催を引き受けました。以後、「情報」で流していますように打ち合わせ会始め、ゲレンデの選定調査等準備を開始しています。

ここで、この大会を引受けるにあたり会としての基本的な考えかたを整理していきたいと思えます。

### 1: 当会が引き受ける事の意味、意義は?

一つは、関西を中心として大きく育ってきたこの大会を、今後も更に継続していく為に大きなクラブだけでなく、小さなクラブなりに他の応援を求めながらも開催の道があると言うこと。

一つは、大きなクラブに依存して開催するのは楽な事ですが、OLは一人一人の参加意識、協力意識が大事なことであり、また、大きなクラブが運営することにより、強力なチームが抜けることになってしまい、西日本(関西?) No.1を決定する要素と興味が半減してしまうことにならないだろうか。

一つは、将来的に各クラブ単位に開催ではなく、以前、近畿OLC連絡会でも話が出ていたように、近畿OL協議会なり、各クラブより何名か出での実行委員会的な団体で開催の方向づけができないだろうか。そうすれば全クラブの参加が可能になります。

### 2: 当会が、この関西のBig大会を本当に開催できるのだろうか?

- ・運営に必要な人員を含め、絶対的な人数(会員数)の不足。
- ・リレー大会を始め、各地の他の大会に参加する会員が極端に少ない。
- ・会の設立後、年数だけは経ているがリレー大会の開催経験がない。

などなど、否定的な面が数多く数え上げられます。・・・が、それについては、

1) 知識・経験面の不足については、連絡会の会場に於いて各クラブより、協力を惜しまない旨の決議をしていただいています。この点については地理的に無理なく、会員と面識があり知識・経験の豊富な方々を、当会よりお願いしていきたいと思えます。

現在既に、OLP兵庫の会長である芝氏に協力をお願いし、当地まで出向いて頂いて色々と教えて頂いております。

2) 運営に拘わる絶対的な人数の不足については、近隣のクラブ等の方々に協力をお願いしていくこととなります。また、幸いなことに昨年来計画していた、3級指導員の講習会を本年6月開催予定になっており、その意欲ある受講者の方々にも協力をお願いできるのでは・・・と、甘い考えを抱いております。

その他、実施に向けてまだまだ難問が待ち受けていることでは、会員の創意と工夫それにやる気! 小人数で有るがゆえに、みんなで力を出し合い頑張ることができます。

私達はおもしろOL、新春OLとアイデアをだし、実践してきました。今度は、いかに小人数でスムーズな運営と、最高の興奮を提供できるかにチャレンジなのです!!

池田 辰雄

PR

小中学校にOLを少人数で入れたらいい努力中。

1 今年1988年何に手を付けよう!

何かと忙しく大会参加が思うより不足する。

何か全国大会には参加の希望を……に……と奔走中。

2 岸和田OJ協会まだはOL仲間と言!

そりー協力があて……雰囲気。大会参加は……は……

3 貴方のスペース どう使う?

大阪OLC 2日間大会にぜひおいで下さい。

驚きと楽しみの冒険にあふれろ OL!!

こゝに越中……と現代の病いに無縁地と思われ。

しかし、「たれでもできるスポーツOL」というキャッチフレーズは  
ほんと無責任の極みです。

やろと指導と努力…… せいに +X。

3月定例役員会 3月サロン(兼、全員集会)

3月4日(金)

午後7時30分

喫茶みきにて

☎39-5205

- ・Wカップリレー大会の件
- ・3級指導員養成講習会の件
- ・昭和63年度総会の件
- ・各大会情報

3月19日(土)

午後7時30分

喫茶みきにて

☎39-5205

- ・Wカップリレー大会の件
- ・各大会の参加を話題に……
- ・久しぶりにみんなの顔を見に……
- ・各大会情報

# 走ることと、車と . . .

前号にもチラッと書いたように、昨年12月以来7Km弱のランニングを、今も週4~5日のペースで続けています。(…決して自慢とか、良いかっこしているんじゃないんですよ。こう公言することにより三日坊主に終わらないようにしているんですよ。念のため?)

コースは、自宅から国道26号線に出て歩道を北進、玉姫殿の信号から中央公園へ入り、公園内を大外回りして再び国道を帰ることにしています。因に、このコースでのベストタイムは33分ですが…今日はそれよりも、いつも感じる車の事を書いてみたいと思います。

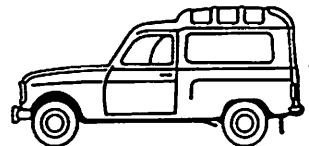
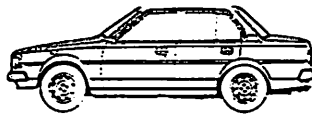
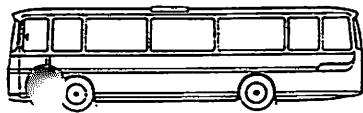
坂本さんも前号で書いていたように、全く車の多いことと、歩行者の事を考えない、見ていない運転者の多いことですね。前方の信号が赤であっても突っ込んでくる車、信号で停車しても横断歩道上にかぶさってしまう車、横断者がいるにも拘わらず右左折する車、等々全くアブナイ!の一言です。

それともう一つ、道路沿いの店などから出る車が歩道をふさいでしまうことの多さです。歩道を通行している人の事など、気にも懸けていないのですね。交差点などでは、常時注意を心がけていたのですが、この歩道をふさぐ車には驚きもし、閉口してしまいます。

私自身、普段から車のお世話になっているし常時使用していますが、歩行者の事にもっと注意をして運転しなくてはと思った次第です。

ランニングをして感じますが、近隣に大きな公園や河川敷きのような、距離もあり、車等の心配なしで走れるコースが有ればいいなぁと思いますね。

=せと=



突然ですが、次の漢文の意味を考えて下さい

出題・寺田保



こたえのらん ~ 深く考えないように、ダジャレです?!

緒離遠偵林求

=

鳴離延停淋愚

=

終里宴打隣偶

=

# 摂津峡でのリレーOL! KOLAの面々?

行ってきました摂津峡! やったぜベイビー! てなもん?。1月17日のウエスタンカップリレーOL大会、KOLAは久しぶりの2チームの出場(1名応援を頂きました。福岡の曾根崎さん、その節は行き難うございました。今度OLP兵庫に加入とか? 頑張ってください。~( )内の文章が多くなってしまったゴメン)。5人揃って会場へ向かう車の中での会話、やはり一人二人の小人数での参加と違い、気分の高ぶりと楽しさを味わうことが出来ました。

現在、各クラブの会報を眺めていますと、各クラブの自信と雰囲気伝わってきます。走ること、OLに浸り研究努力をおこたらず..と、片や我がクラブは..負けません! 技術的には、走力的には、順位的には多くを語れませんが、楽しむことには負けません。ナ!?

(..でもいつかは、トップ争いをして記事にしたいものですね。)

さて、会場の摂津峡までに私達は、まずカーOL?! ズッと以前に参加した記憶を元に車を走らせたのですが、国道より入る道をバラレルエラー? 土地の人に聞き、元に戻り再度アタック、今度はオーバーラン! 次のアタックはどう攻めようか? なんて、アッチダ! コッチダ! とようやく、なんとかゴール。いえいえ、ここが本番のスタート! 摂津峡下の口へ着いたのです。

駐車場へ車をいれると、肌心地よすぎる? 冷たい風を受けながら青テープをたどります..が、どんどんと急な階段道、ハアッハアッ「これで会場へ着いたらウォーミングアップの必要はないなア」考えることは同じオリエンティア? 開会の挨拶に「ここまで登ってくると良いウォーミングアップになったでしょう」だって! ハイ、確かになりました。

さて会場、関西のビッグ大会大半のメンバーが顔を見せています。あっちで「コンチハー!」こっちで「どないしてはりますかぁ」..そう私の大会参加のかなりのウエートを占める楽しみでもあるのです。初めて見る顔でも、気軽にドンドン声をかけます。これで次回に会った時にはもう顔見知り? いつでも知った人ばかりと相成る次第..!

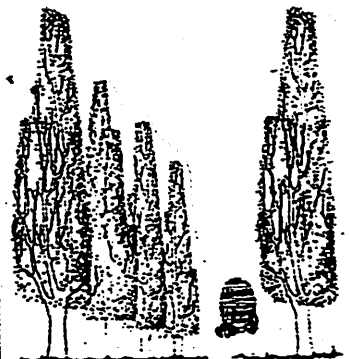
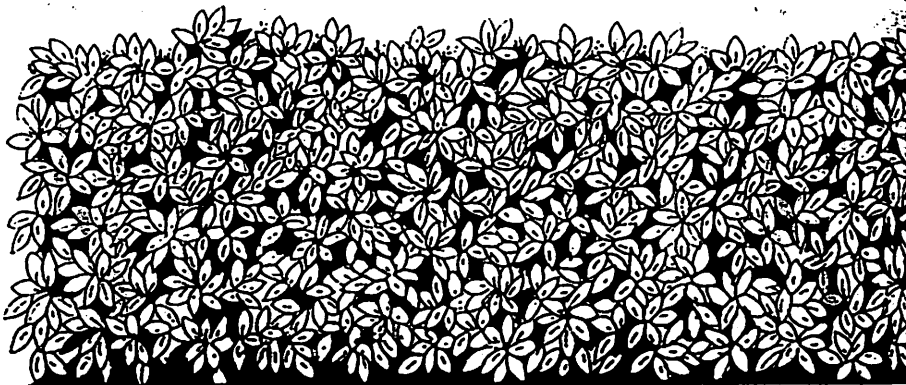
他のKOLAの面々、そこそこに知り合いを見付けたり作ったりしている模様、もっと頑張ってや! 人のつながりこそは貴重な財産、会の財産をもっともっとふやしましょう!?

開会のセレモニーも進み、いつやらスタートの時刻が。いよいよ本番の楽しみが....

さてはて、競技の模様については今回、他の参加者にお任せしましょう。今回、私はウエスタンカップのスタートまでの報告担当と、自分で勝手に決めて、おあとが宜しいようで..

(ほんとかしらネ?)

(T. Seto)



# 第4回 Wカップ成績と集大成

H Aクラス 4900m.

出場 43チーム 入賞 2' 50" 00" 規定4' 06" 00

①燃える 京大 (京都大学OLC) 2' 16" 29

松岡 正人 21 → 山下 智久 21 → 鈴木 康文 20

0' 54" 51 0' 45" 04 0' 42" 41

28K O L A (岸和田OL協会) 1' 12" 59

曾根崎 淳 23 → 寺田 保 40 → 瀬戸 照久 35

0' 51" 51 1' 43" 25 1' 12" 59



"コメントです"

寺田 保 ⇨ 長くて苦しくて転んで痛かった。1/10000縮尺に慣れてなくて行き過ぎが多く登らなくてもいい崖を登った。

コース：会場までの坂が長かった。マークルート最初～最後までほしかった。

瀬戸 照久⇨ただただ楽しかった、仲間が多くて人の集まってる所大好き人間？！

コースは単純に見えて、やっぱり単純だった？そこを、パラレルエラーをし、コンタリングにミスをおかし、一人で複雑にして楽しみました ヽ

Bクラス 2500m 入賞1' 34" 00 規定2' 12" 00

①We Love Kumiko (大阪OLC) 1' 11" 55

沖浦徹二 25 → 山本育男 25 → 野沢建夫 24

0' 24' 17 0' 21' 58 0' 25' 40

26 ケイ・オー・エル・エイ (岸和田OL協会) 2' 04" 12

松坂喜雄 → 浜野品子 → 大西明雄

0' 28' 26 0' 50' 19 0' 56' 13

松坂喜雄⇨まあ楽しかったね、久し振りだし、天気は良かったし、苦しくもなかったし、ホント面白かった。

コースは、1本道だったんでボクには楽だった。

浜野品子⇨完走できてペナルティーなくて、責任はたせて良かったワ～

コースは、思ったより簡単だった、もっと複雑と思ってたわ

(ホッ!)

大西明雄のグループとしてチームワークがうまく行って良かった。リレーは個々の成績が全体に影響するのでプレッシャーが…でも、各地の多くの人達との交流の場が作れるのがよいですね。

コースは、ウエスタン独特の取りかただと思いますが、予想よりも簡単だった！ウエスタンカップで感心したのは、運営が滑らかでスムーズにされていたこと、運営者数も多く4クラブ合同であったのにチームワークがとれていたように見受けられましたね。それに、細かな所にも気遣いが行き届いていたことも嬉しかったね。表彰式の時、少しまとまりにかけると思われたが結構おもしろかったし…。

ただ、学生の参加がかなりのウエートを占めているのが少々残念、一般クラブの社会人達も頑張ろうよ！

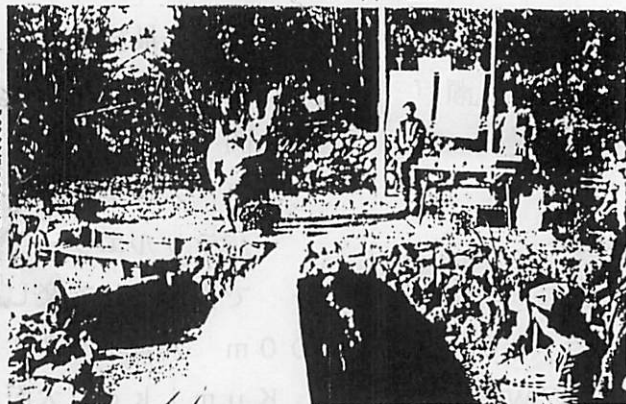
また、この大会も大きくなりすぎるきらいがあるけど、小さくしても度々出来るほうが良いように思いますが、いかが？

最後に、KOLAのメンバー全員ベナなしで完走出来てまずはメダタシメダタシ！これからはもっとおおくの仲間と参加したいものですね。

センセイ!! 私達ハーツ



ウォーミングアップ？



\*\*\*\*\*

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

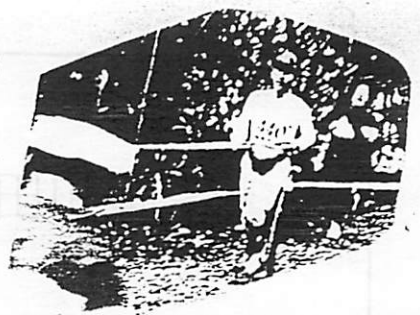




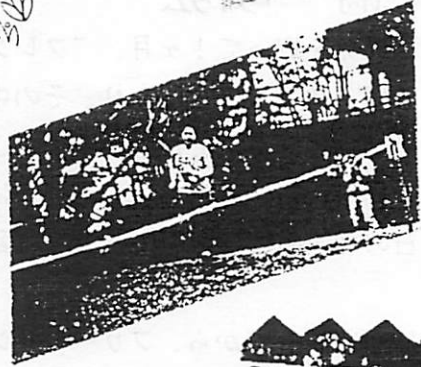


下  
夕  
ト

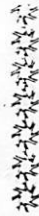
B  
一  
走  
松  
阪  
氏



二  
走  
淡  
野  
氏

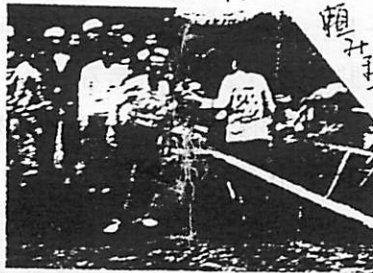


松  
阪  
氏  
淡  
野  
氏

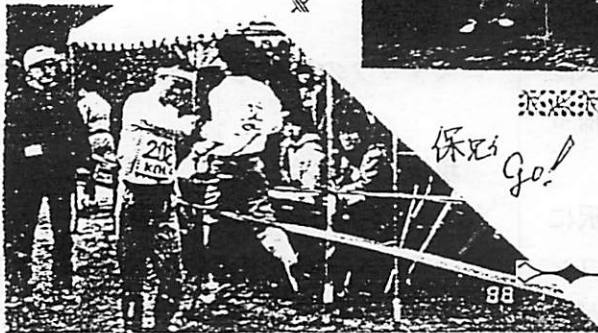


三  
走  
大  
西  
氏

大  
西  
氏



三  
走  
大  
西  
氏



保  
野  
氏  
Go!

走  
力  
氏  
時  
根  
曾  
報  
死



戦  
一  
年  
と  
日  
が  
く  
れ  
一  
年  
と  
せ  
ん  
末

HA  
三  
走  
瀬  
中  
氏  
一  
年  
と  
せ  
ん  
末



## ～岸和田OLA新春大会感走記～

◎ 真鍋 明弘

H I A

無謀の局免を取って1ヶ月。“フレンド局”も30局を数えるほどになり、その中でも“現役学生局”多数と毎晩、徹夜のごとく遊んでいる。当然2日の夜も例外ではなく、3日の朝1時間ほど寝て、大会に臨んだ。

受付が終わってから、フリーポイントだったことを思い出す。スタート地点で地図をもらい、11ポイントの内10ポイントを取ってくればいいのに、「11ポイント取るんだ～～」と張り切ってスタート。

スタート直後、位置説明を貼っていないのに気付く。歩きながらシール(受付でもらっていた)を貼る。山を上り11へ降りる。12へのアタックが低すぎ、沢を登る。12を取り、尾根道まで這い上がる。11へ降りて登るのが大変なのに14へ行けば、帰って来れないと思ひ見捨てる。

16・17と順調に行き、18は一つ東の沢に降りる。18から19へ行こうとしたが、コンタリングを無理してしたため、距離感が無茶苦茶になり、とんでもない所でウロウロしていると大森さんが…、游さんが…。2人の後を追うことにした。

そのうち位置がわかりだし、道がはっきりした所で游さんは19へ、大森さんは下へ降りて行った。自分は19を取ろうと思ひ、游さんの後を追う。19を取って地図を見ると大森さんの行った方向に22があるではないか。何も考えずに22へ行く。22へ着くと、「しまった、21を取ってくれば良かった」

と思ひしよしよ21へ。直進しようとコンパスを合わせ、矢印の方を見る。山、ガケと言つて良いほど急な斜面。その斜面を、何と游さんが降りてくるではないか。その急斜面をよじ登り、尾根まで出る。

21の付近に居ることは、分っているのだが、右を見ると展望台みたいな所がある。机の上へ上がり座り込む。しばらくして、21を探す。24まで来た時、27付近まで見えるのだが、沢を行くとまた急斜面がある。大きく迂回する。27ゴール経は下り坂で走る。

ゴール後、改めてフリーポイントの難しさを知る。

※スタッフの皆さんご苦労様でした

by吉岡 康子

現地でお米を蒸すところから始められ(勿論、ガスではなく、薪で…)お餅焼き、それを“きな粉”を付けてすぐに頂いたのはたのは、とても美味しかったです。いつもは、走った後など、とても食べられないにもかかわらず、今回はついつい手がのびてしまいました。(私の嫌いなアップ・ダウンのためにあまり走れなかったせいばかりではありません。)

ただ、登沢を言わせて貰えるならば、やはり走った後に“甘酒”は頂けませんでした。(ごめんなさい)

スタッフの皆様は、正月早々から色々ご苦労様でした。

# お餅つきオリエンテーリング

BY K.SATO

正月三日に恒例の岸和田OLAの年始めOL大会が神於山で催されました。年の暮れにひどい下痢をして仕事納めも休んでしまい寝正月を決めていました。

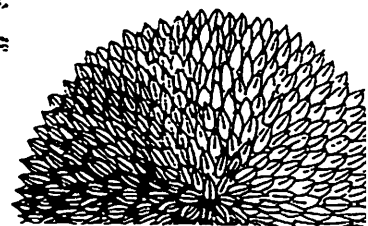
しかし、三日の朝になるとOL虫が騒いで、昼食の用意はいらぬから仕度そこそこに家を飛び出した。会場に着くとOL虫の仲間がそこここ、勿論 上野さんもスタートへ向かうところであった。

競技はフリーポイントOLで11箇所のうち10箇所をチェックすればよく、ラッキーポストがあるとのことでした。1番ポストでは、右の沢に入るべきを左に入ってしまう4分遅れの松井喜章さん(豊中OLC)に抜かれてしまった。今年もライバルに最初から負けたかと意気消沈したが、次のポストから地図が良く見えた。

ゴールをすると、岸和田OLAの御家族の皆様の接待で、つきたてのキナコ餅を頂き、甘酒を3杯もおかわりした。お餅は8升も用意したそうで、私も久し振りに杵をもち、帰りにには子供達が丸めてくれた小餅をお土産に買った。

成績はまずまずで、松井さんには逆転できたので春から幸先のよいスタートでした。来年(1月8日)も必ず参加しようっと!

HA	①	辻村 修	38.52
	②	中島真治	44.56
	③	游 賢忠	49.03
	④	佐藤克之	49.43
12		上野栄三	1.18.50



日時 ☆昭和63年6月18日(土) 15:00  
 6月19日(日) 16:00まで 一泊二日  
 場所 ☆大阪府立泉佐野勤労青少年研修センター  
 (愛称・フレンドシップセンター: 泉佐野市日根野5565)  
 定員 ☆50名  
 参加費 ☆6500円(予定・一泊3食、資料代含む)

詳細・要項は後日! 皆さんよろしく!!!

## ≡オリエンテーリング≡ 3級指導員養成講習会 (第1次)

主催・岸和田オリエンテーリング協会  
 共催・大阪府オリエンテーリング委員会









# 梅花大阪城オリエンテーリング大会

昭和63年2月14日(日)豊中オリエンテーリングクラブ

## 大阪城

縮尺 1 : 5000

B (経験者) は、ポイントOL+メモリーOL

N (初心者) G (グループ) は、ポイントOL

地図記号

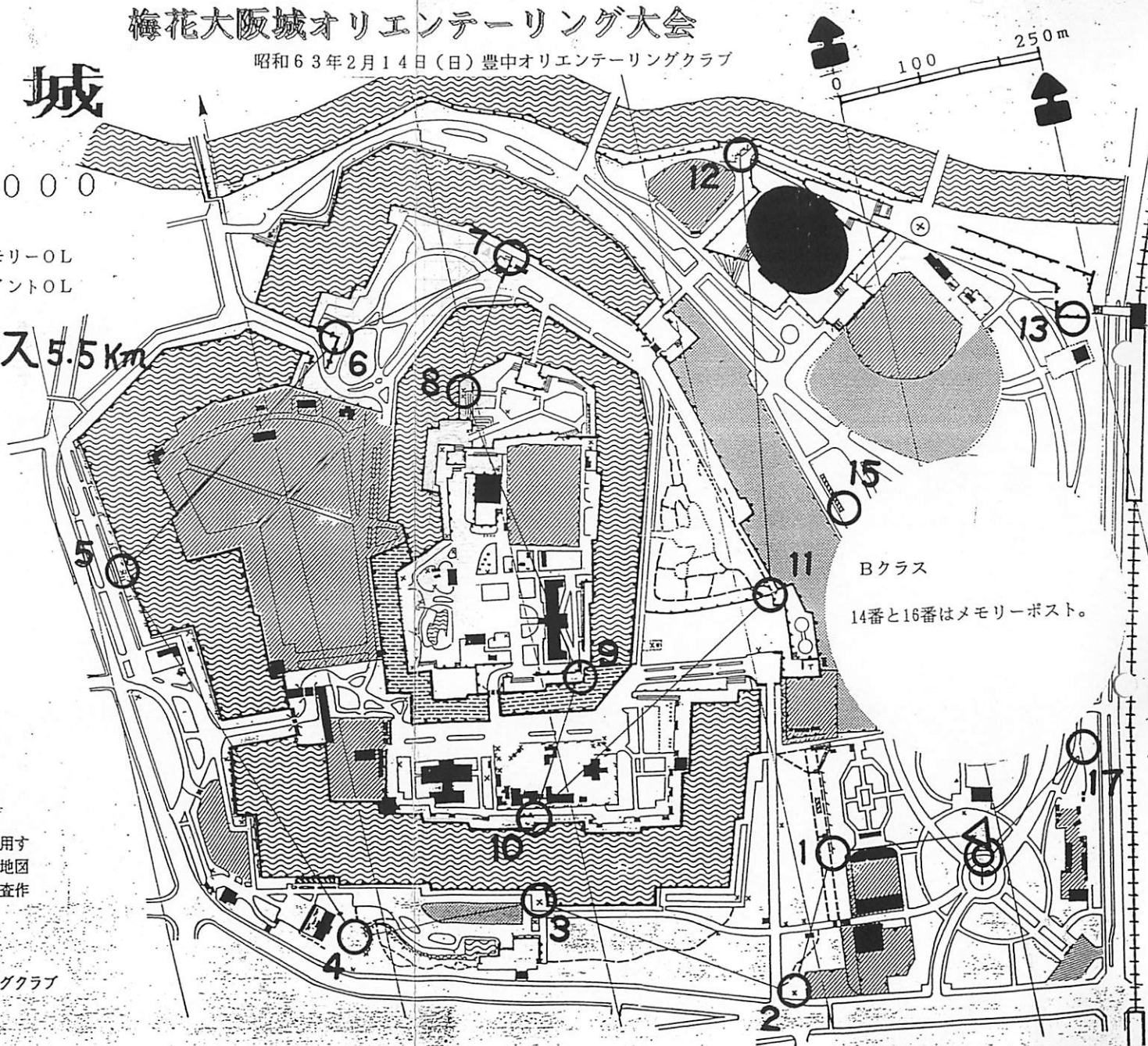
Bクラス 5.5km

- 真中道路
- 道
- 小道
- 小径
- 門・石段
- 植生界
- 通れない柵
- 石垣
- 鉄道・駅
- 石碑・ほころ・人工特徴物 ×
- 岩・石
- 建物・建造物
- 藜樹
- 堀・川・池
- 空堀
- 湧水点・噴水
- 立入禁止
- 開けた土地

この地図はオリエンテーリングに使用するため大阪市公園局の1:5000地図と大阪OLCの「大阪城」を基に調査作図したものである

調査年月日 63.1

調査者 豊中オリエンテーリングクラブ



Bクラス

14番と16番はメモリーポスト。

# 白滝

撮影：津峡

ふるはうす チームHIO  
L.Cレオ コンターズ

大阪府高槻市

縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m

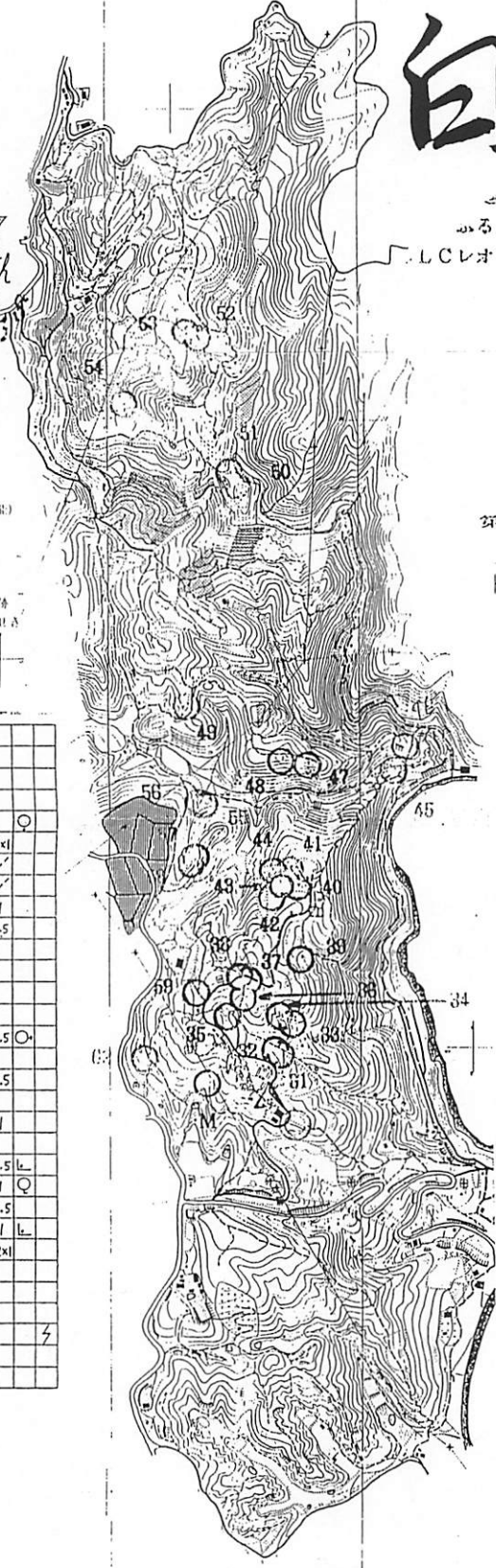


<31>

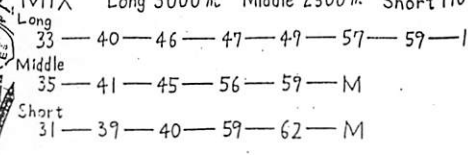
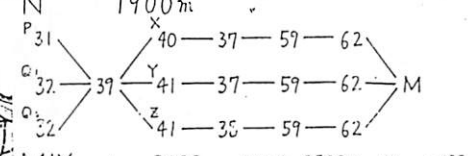
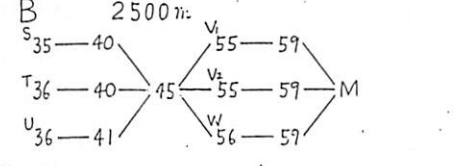
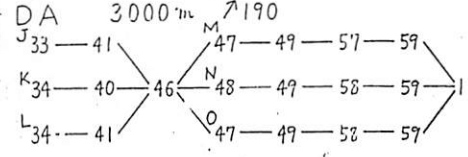
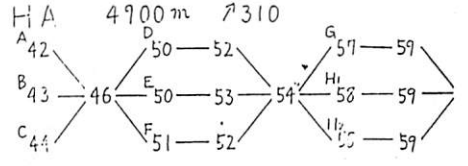
地図記号

- ==== 主要道路
- ==== 道路
- ==== 小道
- ==== 小径
- 橋(通行可能、不明)
- 石壁
- 植生界
- 送電線、鉄塔
- 建物、無屋敷
- 祠・石塔、堤防等跡
- 流石ない河川、干涸
- 小川、湧水点
- 季節の水路
- 池、小さい池
- 貯水池、井戸

31	△	○
32	△	○
33	△	○
34	↑	
35	△	○
36	U	2x1
37	△	○
38	△	○
39	△	○
40	V	1.5
41	△	○
42	H	△
43	△	○
44	↑	
45	△	○
46	△	○
47	V	1.5
48	△	○
49	△	○
50	△	○
51	△	○
52	mm	1 Q
53	↑	1.5
54	U	2x1
55	△	○
56	△	○
57	↑	
58	△	○
59	△	○
62	△	○
M	△	○



第4回ウエスタンカップリレー大会  
1988年1月17日(日) 大阪府高槻市



- 調査期間 1985年5月~1986年1月
- 関西大学OL愛好会  
波多野洋・堀永俊之・大林俊彦  
高田義明・高田 龍・門田康治  
筒井俊和・朝倉康氏・石本晶久  
坂本剛彦・外山忠信・中島秀之
  - OLCふるはうす  
北川達也・村上武司・増本 靖  
福田旬哉・嵯峨和彦・岡崎仁美
  - 神戸大学OLK  
藤崎泰正・渡川英雄・中島真治  
川崎輝雄・大西康弘・中野春彦
- 作 園 者 村上武司  
印 刷 邦文社印刷所